

平成29年度石巻圏インバウンド対応観光資源磨き上げ事業

背景・目的

震災による被害が大きかった宮城県沿岸部においては、外国人旅行者の受入体制や海外に発信できる観光資源が現状不十分なところが多く、底上げを図る必要がある。本事業では、石巻圏(石巻市、東松島市及び女川町)の観光資源磨き上げとガイド人材の育成を行うことにより、インバウンド対応可能な地域資源の増加を目指す。

実施した主な取組の内容

【取組内容】

- ・石巻圏事業者の観光コンテンツについて、旅行会社等アドバイザーを招聘し、課題・改善点抽出、ターゲット・コンセプトの検討等、磨き上げを支援。
- ・石巻圏の魅力効果を伝えることのできる観光ガイドを育成するため、研修を実施。



【詳細】

- ・観光関係のアドバイザー4名から、石巻圏6事業者の観光コンテンツに対し、個別助言を5回実施。
- ・観光ガイド候補者に対し、地域資源を活かした観光ルートの組み立てや、ガイドとしてのマナー・心得等を学ぶためのスキルアップ研修を6回実施。また、実際に候補者がガイドを行うインナーツアーを実施。



得られた成果

- 石巻圏6事業者の観光コンテンツ磨き上げ(観光コンテンツについてはパンフレット「石巻圏の新しい観光」に取りまとめ)。
- 石巻圏における観光ガイドの育成。

今後に向けた活動の見通し・課題

- 磨き上げを行った観光コンテンツの販路拡大。
- スキルを習得した観光ガイドが、地域の魅力を発信。